

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	⑤ (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
御提案件名	空堀掘削による地下水のバイパス放流
御提案者	福岡 強
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>福島第一原発敷地全域を汚染島に指定する。 敷地境界内側 10m を地下導水層まで掘削する。 掘削斜面内側(原発側)はベントナイト複合シートによる防水壁とする。 ドイツからの輸入品『ベントフィックス』ではなく、国内のニードルパンチ不織布とベントナイトを NP による複合化がベスト。 中古の NP 機を導入して福島にベントナイトシートの製造工場を作る。 外側(山側)斜面は不織布土木シートによる透水性斜面として、多数の集水パイプを打ち込む。</p> <p>原発敷地への地下水の流入は阿武隈山系伏流水の位置のエネルギーによるものである。 原子炉建屋でなく、境界敷地で目に見える形で、電力を使用せずに放流する：</p> <p>汚染島内の汚染水は濃縮減容化して汚染島の外に出さない。</p>	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) 全て既存のローテク技術で可能である。 <p>山側の伏流水は放射線チャックをしたうえで問題なければ、水ストレスに対応可能な輸出戦略物資として福島復興のシンボルとなる。 後手後手となって頭を下げる姿でなく、復興のシンボルが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実用化に向けた課題・留意点 <p>・その他 (特許等を保有している場合の参照情報等)</p>	

(備考) 技術提案募集の内容 (6分野)

- ① 汚染水貯蔵 (タンク等)
- ② 汚染水処理 (トリチウム処理等)
- ③ 港湾内の海水の浄化 (海水中の放射性物質の除去等)
- ④ 建屋内の汚染水管理 (建屋内止水、地盤改良等)
- ⑤ 地下水流入抑制の敷地管理 (遮水壁、フェーシング等)
- ⑥ 地下水等の挙動把握 (地下水に係るデータ収集の手法、水質の分析技術等)